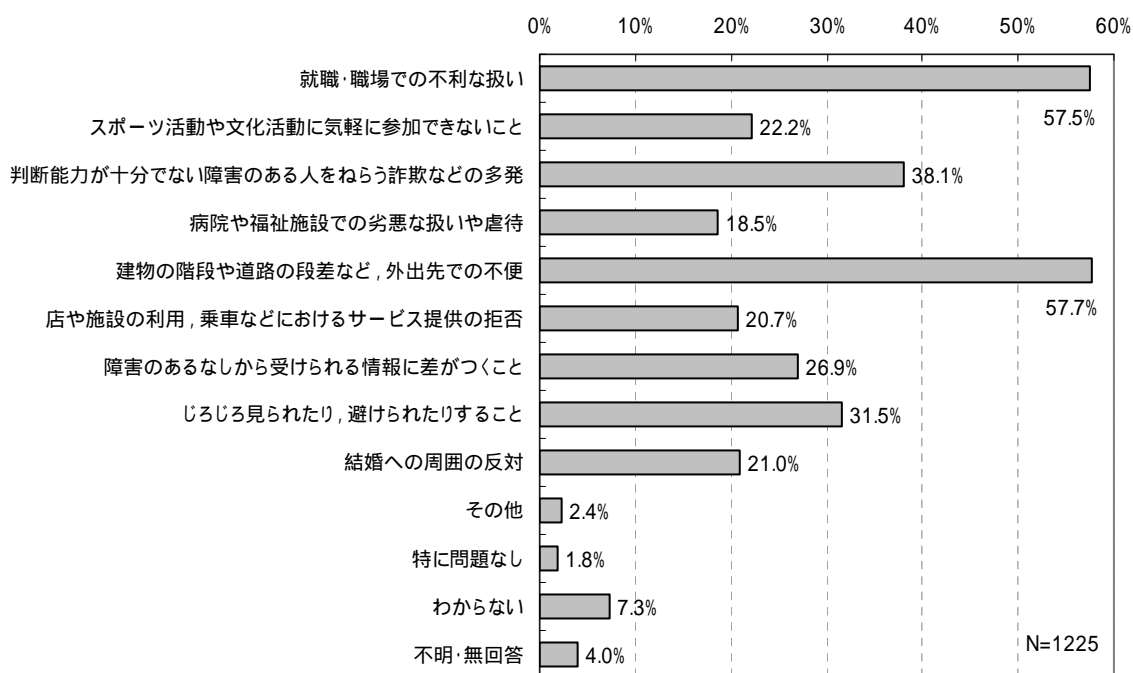


## 障害のある人に関する人権上の問題と解決に必要な取組

問 11 障害のある人に関する人権上の問題について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(はいくつでも)



「建物の階段や道路の段差など、外出先での不便」(57.7%)が最も高く約6割で、「就職・職場での不利な扱い」(57.5%)がほぼ同率で続いている。次いで、「判断能力が十分でない障害のある人をねらう詐欺などの多発」(38.1%)、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(31.5%)となっている。

## 性別・年齢別

(%)

		就職・職場での不利な扱い	スポーツ活動や文化活動に気軽に参加できないこと	判断能力が十分でない障害のある人をねらう詐欺などの多発	病院や福祉施設での劣悪な扱いや虐待	外出先での不便	建物の階段や道路の段差など、	店や施設の利用、乗車などにおけるサービス提供の拒否	障害のあるなしから受けられる情報に差がつくこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	結婚への周囲の反対	その他	特に問題なし	わからない
全体	N=1225	57.5	22.2	38.1	18.5	57.7	20.7	26.9	31.5	21.0	2.4	1.8	7.3	
男性	N=532	60.0	22.6	33.8	16.0	51.7	18.6	24.8	32.3	19.9	2.8	1.9	6.4	
女性	N=677	56.1	22.5	41.8	20.7	63.2	22.3	28.8	31.0	22.0	2.1	1.8	7.7	
20歳代	N=135	63.7	22.2	26.7	21.5	53.3	30.4	26.7	47.4	22.2	1.5	1.5	4.4	
30歳代	N=189	65.6	24.9	41.8	20.6	60.8	25.9	27.0	40.7	26.5	4.8	1.1	4.8	
40歳代	N=178	64.6	25.8	36.0	21.3	61.2	28.7	33.1	34.3	21.3	2.8	1.1	4.5	
50歳代	N=238	62.6	22.7	37.8	18.9	61.3	21.8	35.7	32.8	23.5	2.1	1.3	5.9	
60歳代	N=238	49.2	22.3	41.6	17.2	55.5	12.6	25.6	21.8	17.2	2.5	1.7	9.2	
70歳以上	N=234	46.2	17.9	40.6	14.1	55.1	11.5	15.0	21.4	17.1	0.9	3.8	12.0	

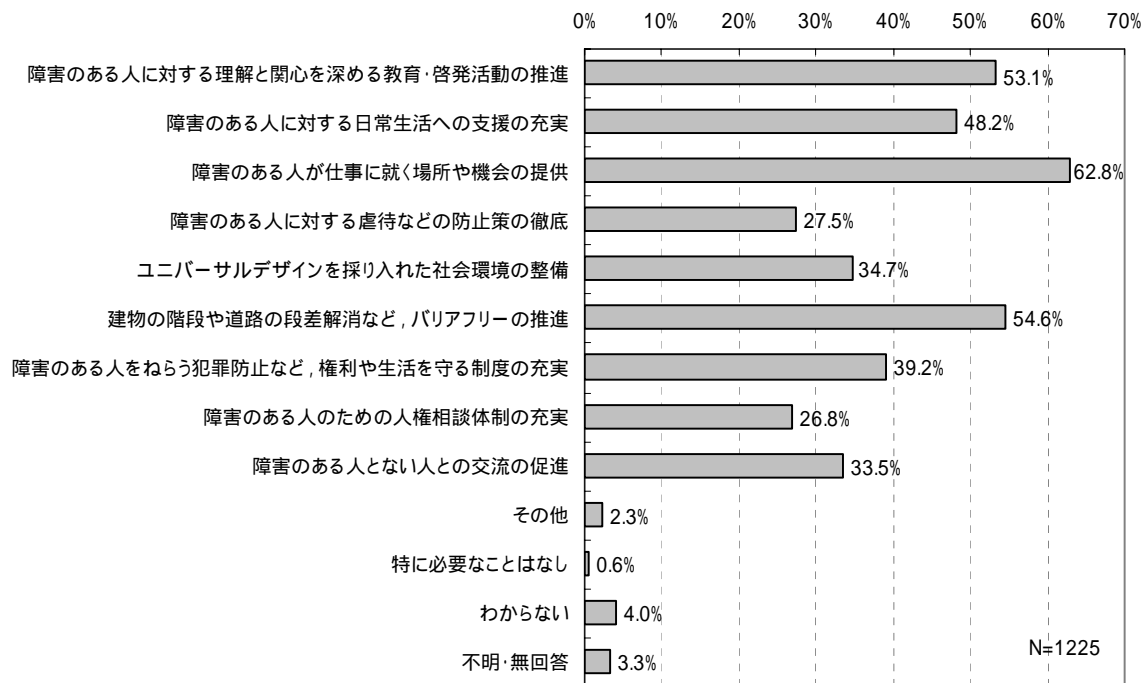
性別で見ると、男性では「就職・職場での不利な扱い」が、女性では「建物の階段や道路の段差など、外出先での不便」が最も高くなっている。

また、「建物の階段や道路の段差など、外出先での不便」については、女性の方が10ポイント以上高くなっている。

年齢別で見ると、20歳代から50歳代では「就職・職場での不利な扱い」が、60歳代以上では「建物の階段や道路の段差など、外出先での不便」が最も高くなっている。

また、年齢が低いほど「じろじろ見られたり、避けられたりすること」や「店や施設の利用、乗車などにおけるサービス提供の拒否」が高くなる傾向が見られる。

問 12 障害のある人の人権が守られるために 特に必要なことはどのようなことだと思いますか。  
 ( はいくつでも )



「障害のある人が仕事に就く場所や機会の提供」(62.8%)が最も高く6割を超えている。次いで、「建物の階段や道路の段差解消など、バリアフリーの推進」(54.6%)、「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発活動の推進」(53.1%)が5割を超えている。

## 性別・年齢別

(%)

		障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発活動の推進	障害のある人に対する日常生活への支援の充実	障害のある人が仕事に就く場所や機会の提供	障害のある人に対する虐待などの防止策の徹底	障害のある人に対する虐待などの防止策の徹底	ユニバーサルデザインを採り入れた社会環境の整備	建物の階段や道路の段差解消など、バリアフリーの推進	障害のある人をねらう犯罪防止など、権利や生活を守る制度の充実	障害のある人のための人権相談体制の充実	障害のある人となし人との交流の促進	その他	特に必要なことはなし	わからない
全体	N=1225	53.1	48.2	62.8	27.5	34.7	54.6	39.2	26.8	33.5	2.3	0.6	4.0	
男性	N=532	52.3	46.1	59.6	25.6	31.2	49.6	36.3	23.1	29.7	2.8	0.9	3.9	
女性	N=677	54.4	50.4	65.9	29.1	37.8	58.9	41.7	29.5	36.6	1.9	0.3	3.8	
20歳代	N=135	53.3	48.9	60.7	23.7	37.8	52.6	31.1	20.7	43.0	3.7	1.5	1.5	
30歳代	N=189	51.9	47.6	61.9	31.7	45.0	56.1	38.1	23.3	39.2	3.2	0.5	3.2	
40歳代	N=178	52.8	47.2	71.3	27.5	38.8	60.7	39.9	22.5	32.6	2.8	-	2.8	
50歳代	N=238	52.9	52.9	69.7	29.8	43.3	55.0	41.2	33.2	34.5	3.4	-	3.8	
60歳代	N=238	53.4	45.8	61.8	27.3	26.9	52.1	41.2	31.1	32.4	0.8	0.8	3.8	
70歳以上	N=234	55.1	47.4	53.0	23.9	21.4	52.6	40.2	24.8	24.4	0.9	0.9	7.3	

性別で見ると、男女とも「障害のある人が仕事に就く場所や機会の提供」が最も高くなっている。また、「建物の階段や道路の段差解消など、バリアフリーの推進」については、女性の方が10ポイント近く高くなっている。

年齢別で見ると、ほぼすべての年齢層で「障害のある人が仕事に就く場所や機会の提供」が最も高く、40歳代では7割を超えている。

また、年齢が低いほど「障害のある人となし人との交流の促進」が高くなる傾向が見られる。